

## 全国月間火山概況

桜島の噴火活動は、昭和火口で爆発的噴火が11月下旬頃からやや増加し、12月上旬までやや多い状態で経過するなど活発な状態で経過しました。今後、桜島直下へのマグマの供給量が増加した場合、更に火山活動が活発化する可能性も考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

霧島山（新燃岳）では、火山性地震が増減を繰り返しながらやや多い状態が続き、振幅の小さな火山性微動が時々観測されるなど、火山活動のやや高まった状態が続いています。新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生し、噴火活動は活発に経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

1月7日現在の各火山の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

**表1 1月7日現在の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況**

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島
	レベル2 (火口周辺規制)	三宅島、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警戒及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

### 【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

#### 雌阿寒岳[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

17日12時台から21時台にかけて振幅の小さな火山性微動が4回発生しました。雌阿寒岳で火山性微動が発生したのは、2009年3月18日以来です。これらの微動発生時において、噴煙の状況、空振計や傾斜計のデータに特段の変化はありませんでした。

17日の火山性微動の発生後、19日にかけて振幅の小さな火山性地震がやや増加しました。その後は、地震活動は低調に経過しています。

地磁気観測所の地磁気全磁力観測によると、96-1火口南側斜面地下の冷却を示すと考えられる全磁力の増加が2009年7月以降観測されていますが、2010年7月以降はその増加の傾向はやや鈍化してきています。

噴煙活動や地殻変動のデータに特に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

#### 浅間山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

火山性地震はやや少ない状態で経過しましたが、28日から31日にかけてやや増加しました。

噴煙高度は火口縁上100~300mと低い状態で経過しました。

6日に行った現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄放出量は、一日あたり100~300トンとやや少ない状態でした。

山体周辺のGPS連続観測や傾斜計による地殻変動観測では、特段の変化はみられません。

火山活動に特段の変化はなく、山頂火口から500mを超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、山頂火口から概ね500m以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

### **伊豆大島〔噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)〕**

GPS及び体積歪計による観測では、2010年5月下旬から伸びの傾向がみられましたが、9月頃から体積歪計の伸びの傾向に鈍化がみられます。国土地理院のGPS及び独立行政法人防災科学技術研究所の傾斜計においても、2010年5月頃から山体の膨張を示す変動がみられます。

三原山周辺の浅部を震源とする火山性地震は、やや少ない状態で経過しましたが、22日に島の西方沖を震源とする振幅の小さな地震が一時的に増加しました。

三原山の噴気の状態及び熱活動には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません

### **三宅島〔火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)〕**

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね100～400mで経過しました。

15日および27日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり500～900トン(前回11月2日、700～900トン)で、やや多量の火山ガス放出が続いています。

三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は、少ない状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

### **硫黄島〔火口周辺警報(火口周辺危険)〕**

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。

国土地理院の観測によると、島全体の隆起を示す地殻変動が2006年8月に始まり、2009年10月頃からは停滞していましたが、2010年5月頃から再び現れ、11月中旬頃から鈍化しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部(井戸ヶ浜等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に対する警戒が必要です。

### **福徳岡ノ場〔噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報〕**

18日に海上自衛隊が実施した上空からの観測によると、複数の湧出点付近から、青白色、緑色変色水が幅約280m、長さ約1,800mの帯状に南方に延びているのが確認されました。

福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

### **霧島山(新燃岳)〔火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)〕**

火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。月回数は203回(11月:150回)でした。振幅が小さく、継続時間の短い火山性微動を時々観測しました。月回数は4回(11月:6回)でした。

噴煙活動は低調で、白色の噴煙が火口縁上概ね100m(最高高度は200m)で経過しました。

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

火山活動のやや高まった状態が続いており、新燃岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

### **桜島〔火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)〕**

昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が2010年11月下旬頃からやや増加し、12月上旬までやや多い状態で経過し活発な状態でした。12月中旬以降もごく小規模な噴火が、断続的に発生しました。噴火が62回(11月:59回)発生し、そのうち爆発的噴火は52回(11月:50回)でした。これらの噴火に伴い、最も遠くまで飛散した大きな噴石は4合目(昭和火口から800m～1,300m)まで達し

ました。火砕流は、観測されませんでした。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

24日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり2,600トン(11月:1,100~1,900トン)と多い状態でした。

GPS連続観測では、2010年初めころからみられた桜島島内の伸びの傾向は、6月頃から鈍化または収縮に転じています。有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、2010年7月頃からみられた山体の沈降傾向は11月下旬以降停滞しています。12月上旬には一時的に桜島直下へのマグマの供給量の増加によると考えられるわずかな変化が認められました。

また、国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、始良(あいら)カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられますが、2010年7月頃から鈍化しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

### **薩摩硫黄島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】**

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、白色の噴煙が火口縁上概ね100m(最高高度は火口縁上300m)で経過しました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

14日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、2009年12月22日の観測と比べて、火口周辺の高温域等に特段の変化はありませんでした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

### **諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】**

御岳<sup>おたけ</sup>火口では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生し、噴火活動は活発に経過しました。爆発的噴火は17回(11月:94回)で、前期間と比べ減少しました。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

14日に、海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、御岳火口底の中央部に赤熱した高温域が認められたほか、外壁下部にも高温域が認められました。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成23年1月7日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常）
	新燃焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。  
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## (2) その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山